

第 9 期 定 期 総 会 資 料

【議 案 書】

日時：令和 4 年 1 1 月 2 6 日（土） 1 3 時 3 0 分

場所：長野市リサイクルプラザ 活動室 1



国土・地域を人と情報で結び元気を創出する

一般社団法人社会活動機構

Organization of Alternative Social Information System

一般社団法人社会活動機構
OASIS

一般社団法人社会活動機構

第9期定期総会次第

日時：2022(令和4)年11月26日(土)13時30分

場所：長野市リサイクルプラザ 会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

第1号議案：第8期事業報告について

第2号議案：第8期収支決算について

第3号議案：第9期事業計画（案）について

第4号議案：第9期収支予算（案）について

第5号議案：定款の変更について

第6号議案：役員を選任について

その他

6. 閉会

第8期 事業報告

(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

環境と調和した持続性のある地域社会の発展をめざし、文化・芸術活動やスポーツ・レクリエーション等の促進による豊かであるおいある生活の資質向上を図り、かつ新たな産業や雇用の創出の促進と次世代の担い手を育むことにより、活力ある地域社会の構築に資する非営利活動を目的に次の事業を行った。

今期においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントや各種講座などが中止になるなど影響があったものの、感染防止対策を講じた新しい方法に取り組みながら事業を推進することができた。

1. 事業活動

(1) 行政、地域活動団体、企業等への助言および施設管理運営等に関する事業【10】

- ①サンマリーンながの&長野市リサイクルプラザ 運営支援 (収益事業) ※継続
サンマリーンながの・長野市リサイクルプラザでの広報やイベント等の企画運営を業務支援した。
・利用促進のためのチラシと新聞広告のデザインおよび制作を7回受託。

- ②流域環境研究所運営支援 (公益事業) ※継続
流域環境研究所 (NPO法人CO2バンク推進機構内) の技術協力を行った。

- ③交通・環境・まちづくりの市民協働研究所 (収益事業) ※継続
国立長野高専環境都市工学科 (交通、都市計画、建築系研究室) と連携し、市民、地域団体、行政等が協働して取り組む交通・まちづくりなどに関する調査、計画策定等のコンサルティング業務を行った。
・民活利用による公共施設マネジメント研究会で情報収集を行うなどの活動を継続し、関係機関への提言や事業化検討に取り組んだ。
・長野駅善光寺口駅前広場で開催した『グリーンインフラ体験コーナー』の温熱環境測定のほか、グリーンインフラの普及啓発パネル制作 (5枚) を長野高専環境都市工学科 (西川研究室) に依頼した。

- ④サイト環境整備・活用検討業務 (収益事業) ※継続
戸隠イースタンキャンプ場において、キャンプ場内の生物多様性維持向上や環境教育の場としての活用方策を、現地調査等を行いながら計画、立案した。

- ⑤イベント運営支援 (収益事業) ※継続
各種の市民向けイベント等において集客力向上のための方策を検討し、イベント企画計画と運営に取り組んだ。
・『ゼロカーボン長野プログラム』を共催し、イベントの企画、運営支援した。
ゼロカーボン長野プログラム (主催: NPO法人CO2バンク推進機構)
令和4年6月16日 (木) ~ 9月18日 (日)
ゼロカーボン長野プログラムへの参加者 4,806人

(2) 地域活動団体、企業、個人等の相互交流および協働に関する事業【3】

①信州緑花ネットワーク支援（収益事業） ※継続

第36回全国都市緑化信州フェア開催を契機に設立された、県民・市民が主体となった連携組織である信州緑花ネットワークの事務局を運営した。

- ・信州グリーンインフラに関する提言
- ・メイン会場におけるメモリアル花壇とプロジェクトチームの運営支援
プロジェクトチーム「信州花フェスタ花緑ボランティアの会」の運営協力
花緑ボランティアリーダー養成講座のコーディネート
- ・国営アルプスあづみの公園における「国営公園シェードガーデンプロジェクト」の運営支援

②エコマラソン長野支援（収益事業） ※継続

中学生、高校生、専門学校・高専、大学生や社会人が参加する自作エコカーの燃費・電費を計測する競技会として第16回となる『エコマラソン長野2022』の運営を支援した。

- ・エコマラソン長野2022（主催：エコマラソン長野実行委員会）
令和4年9月17日（土）から9月18日（日） 会場：クリーンピア千曲
16回となる今回の競技会は、過去最多となる34チームが参加し、盛会となった。

(3) 環境や地域の歴史、文化等の教育支援、生涯学習に関する事業【6】

①宇原川親水空間利用プロジェクト（公益事業） ※検討中

宇原川上流部（須坂市仁礼地区）における河川空間の利活用に関する企画を検討中。

(4) インターンシップ、ボランティア等の社会参加活動の斡旋、仲介、証明等に関する事業【9】

①社会貢献活動への参加証明（公益事業） ※継続

学生などが取り組むボランティアや社会貢献活動等について、要請に応じてその活動状況を審査し、証明書を発行する。他団体が実施した活動についても対象とする。今期の利用実績はなかった。

(5) 企業、団体における人材育成および社会貢献活動の支援に関する事業【11】

①CPD（技術者の継続教育）（収益事業） ※継続

建設、建築等の技術者向けにCPD（継続教育）プログラムを作成、実施し、その修了者に受講証明書を発行した。

- ・『グリーンインフラ推進オンラインセミナー』の企画・運営
CPD認定講座として8月10日（水）に開催した。
ZOOMでの視聴は204名、YouTubeでの視聴は198名であった。

②企業等の技術支援業務（収益事業） ※継続

会員企業と学校、研究機関等との共同研究などにより、技術力向上の支援を行った。

- ・新建新聞社協力によるオンラインセミナーの運営
『グリーンインフラ推進オンラインセミナー』の企画・運営（再掲）
8月10日（水）長野市リサイクルプラザから ZOOM 配信しつつ、YouTube での視聴（ライブおよび見逃し配信）できる企画とした。事業主体はNPO法人

CO2バンク推進機構で、『ゼロカーボン長野プログラム』の一環として開催した。今回は、『流域治水におけるグリーンインフラの役割と可能性』をテーマとし、全国的に活躍する専門家や、国土交通省、長野県、関係団体の要職からの情報提供をいただき、パネルディスカッションを行った。

(6) 地域資源を活用した技術および商品の開発、販売等に関する事業【7】

①委託販売プロモーション(収益事業) ※検討中

当法人での各種商品、アート等の委託販売等の対象や手法を具体化した。

- ・田中克樹氏(プロ会員)の活動支援

(7) 文化・芸術等のイベント、講座等の企画、運営等に関する事業(公益事業)【5】

①OASISセミナーの企画、運営 ※検討中

市民や専門家などさまざまな対象に向けたイベントや講座等を企画し、その運営手法を検討した。

- ・『グリーンインフラ推進オンラインセミナー』の企画・運営(再掲)

(8) その他、本会の目的を達成するために必要な事業【12】

①事業促進ツールの製作(収益事業)

当法人の事業促進を目的としたパンフレットツールの拡充を図るほか、ホームページなどを通じた情報発信に取り組んだ。

②その他

- ・会員と協力し、公益事業、収益事業プロジェクトの企画立案を行った。

2. 会議等

・令和 3年11月 5日(金) 第8期第1回理事会 会場:長野市リサイクルプラザ

・令和 3年11月27日(土) 第8期定期総会 会場:長野市リサイクルプラザ

■理事会を随時で開催するほか、会員相互の連携を深める親睦会を開催する。

(参考) 定款における事業

- 【 1】講演会、フォーラム、出張講座等の企画、運営に関する事業
- 【 2】広報、出版等の情報の発信に関する事業
- 【 3】地域活動団体、企業、個人等の相互交流および協働に関する事業
- 【 4】スポーツ、レクリエーション等の余暇活動の企画、運営等に関する事業
- 【 5】文化・芸術等のイベント、講座等の企画、運営等に関する事業
- 【 6】環境や地域の歴史、文化等の教育支援、生涯学習に関する事業
- 【 7】地域資源を活用した技術および商品の開発、販売等に関する事業
- 【 8】食育の促進および食文化の振興発展等に関する調査研究、普及啓発に関する事業
- 【 9】インターンシップ、ボランティア等の社会参加活動の斡旋、仲介、証明等に関する事業
- 【10】行政、地域活動団体、企業等への助言および施設管理運営等に関する事業
- 【11】企業、団体における人材育成および社会貢献活動の支援に関する事業
- 【12】その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第2号議案

一般社団法人 社会活動機構

第8期 収支決算

(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
会費収入	430,000	360,000	70,000
1 事業収入			
活動支援			0
イベント支援	3,488,047	2,932,137	555,910
その他受託業務	50,000	100,000	△ 50,000
2 雑収益			
受取利息	19	14	5
経常収入合計	3,968,066	3,392,151	575,915
II 経常支出の部			
1 事業費			
労務費・講師料	108,000	129,600	△ 21,600
通信交通費	19,125	28,463	△ 9,338
会議費	8,999	4,281	4,718
外注費	1,294,850	398,800	896,050
外注費(印刷費)	295,955	1,260,299	△ 964,344
消耗品費	78,335	828,952	△ 750,617
印刷費	137,500	57,077	80,423
支払手数料	26,320	5,280	21,040
新聞図書費	8,470	420	8,050
諸会費	1,073,000	7,000	1,066,000
事業費小計	3,050,554	2,720,172	330,382
2 管理費			
事務局経費			
役員報酬	420,000	380,000	40,000
労務費・講師料	60,000	40,000	20,000
通信交通費	38,747	7,366	31,381
会議費	7,316	1,954	5,362
租税公課	2,150	40,000	△ 37,850
支払手数料	330	0	330
未払法人税	81,000	71,000	10,000
管理費小計	609,543	540,320	69,223
経常支出合計	3,660,097	3,260,492	399,605
経常収支差額	307,969	131,659	176,310
III その他資金収入の部			
1 借入金収入			
その他資金収入合計	0	0	0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額	307,969	131,659	176,310
前期繰越収支差額	1,520,383	1,388,724	131,659
次期繰越収支差額	1,828,352	1,520,383	307,969
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(再掲)	307,969	131,659	176,310
増加額合計	307,969	131,659	176,310
VI 正味財産減少の部			
減少額合計	0	0	0
当期正味財産増減額	307,969	131,659	176,310
前期繰越正味財産	1,520,383	1,388,724	131,659
当期正味財産合計	1,828,352	1,520,383	307,969

第8期 正味財産増減計算書（事業別内訳）

（令和3年10月1日～令和4年9月30日）

（単位：円）

科 目	公益事業	収益事業	合 計
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
会費収入	430,000		430,000
1 事業収入			
活動支援			0
イベント支援		3,488,047	3,488,047
その他受託業務		50,000	50,000
2 雑収益			
受取利息	12	7	19
経常収入合計	430,012	3,538,054	3,968,066
II 経常支出の部			
1 事業費			
労務費・講師料		108,000	108,000
通信交通費		19,125	19,125
会議費		8,999	8,999
外注費		1,294,850	1,294,850
外注費（印刷費）		295,955	295,955
消耗品費		78,335	78,335
支払手数料		26,320	26,320
新聞図書費		8,470	8,470
印刷費		137,500	137,500
諸会費		1,073,000	1,073,000
事業費小計	0	3,050,554	3,050,554
2 管理費			
役員報酬	42,000	378,000	420,000
労務費・講師料	60,000		60,000
会議費	7,316		7,316
租税公課	2,150		2,150
通信交通費	7,737	31,010	38,747
支払手数料	330		330
法人税等	8,100	72,900	81,000
管理費小計	127,633	481,910	609,543
経常支出合計	127,633	3,532,464	3,660,097
経常収支差額	302,379	5,590	307,969
III その他資金収入の部			
1 借入金収入			
その他資金収入合計	0	0	
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計	0	0	
当期収支差額	302,379	5,590	307,969
前期繰越収支差額	1,582,979	△ 62,596	1,520,383
次期繰越収支差額	1,885,358	△ 57,006	1,828,352
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額（再掲）	302,379	5,590	307,969
増加額合計	302,379	5,590	307,969
VI 正味財産減少の部			
減少額合計	0	0	0
当期正味財産増減額	302,379	5,590	307,969
前期繰越正味財産	1,582,979	△ 62,596	1,520,383
当期正味財産合計	1,885,358	△ 57,006	1,828,352

貸借対照表

令和4年9月30日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,739,600		
未収金	249,700		
流動資産合計		1,989,300	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,989,300
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	62,750		
未払法人税等	81,000		
預り金(所得税)	17,198		
流動負債合計		160,948	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			160,948
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	1,520,383		
当期正味財産増減額	307,969	1,828,352	
正味財産合計			1,828,352
負債及び正味財産合計			1,989,300

財 産 目 録
令和4年9月30日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要			金 額		
I 資産の部					
1 流動資産					
	現金	現金手許有高	763,133		
	預金				
	八十二銀行 普通預金	八十二銀行 本店	975,467		
	長野信用金庫 普通預金	長野信用金庫 更北支店	1,000		
	未収金	収益事業未収金 1件	249,700		
	流動資産合計			1,989,300	
2 固定資産					
	固定資産合計			0	
	資 産 合 計				1,989,300
II 負債の部					
1 流動負債					
	未払金		62,750		
	未払法人税等	長野税務署	81,000		
	預り金	源泉所得税	17,198		
	流動負債合計			160,948	
2 固定負債			0		
	固定負債合計			0	
	負 債 合 計				160,948
	正 味 財 産				1,828,352

第 8 期 監 査 報 告

第 8 期における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告いたします。

定款第 35 条第 2 項の規定により、一般社団法人 社会活動機構の会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る財務諸表（貸借対照表及び、正味財産増減計算書）及びそのた附属明細書について監査し、会計帳簿の記載金額と一致し、本一般社団法人 社会活動機構の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。

令和 4 年 1 1 月 1 5 日

監 事 永村 清造 ⑩

監 事 永田 良輔 ⑩

* 監事の個人情報を保護するため、署名、押印された監査報告書は保管しています。

第9期 事業計画(案)

(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

環境と調和した持続性のある地域社会の発展をめざし、文化・芸術活動やスポーツ・レクリエーション等の促進による豊かでうまい生活の資質向上を図り、かつ新たな産業や雇用の創出の促進と次世代の担い手を育むことにより、活力ある地域社会の構築に資する非営利活動を目的とした次の事業を行う。

1. 事業活動

(1) 行政、地域活動団体、企業等への助言および施設管理運営等に関する事業【10】

①サンマリンながの&長野市リサイクルプラザ 運営支援(収益事業) ※継続
サンマリンながの・長野市リサイクルプラザでの広報やイベント等の企画運営を業務協力する。

②流域環境研究所運営支援(公益事業) ※継続
流域環境研究所(NPO法人CO2バンク推進機構内)の技術協力を行う。

③交通・環境・まちづくりの市民協働研究所(収益事業) ※継続
国立長野高専環境都市工学科(交通、都市計画、建築系研究室)と連携し、市民、地域団体、行政等が協働して取り組む交通・まちづくりなどに関する調査、計画策定等のコンサルティング業務を行う。
・民活利用による公共施設マネジメント研究会で情報収集を行うなどの活動を継続し、関係機関への提言や事業化検討に取り組む。
・エコマラソン長野のコースをフィールドとした『ドローン・3Dレーザースキャン技術体験の校外実習』を長野高専環境都市工学科と協働し、エコマラソン長野への技術協力に取り組む。

④サイト環境整備・活用検討業務(収益事業) ※継続
戸隠イースタンキャンプ場において、キャンプ場内の生物多様性維持向上や環境教育の場としての活用方策を、現地調査等を行いながら計画、立案する。

⑤イベント運営支援(収益事業) ※継続
各種の市民向けイベント等において集客力向上のための方策を検討し、イベント企画計画と運営に取り組む。
・『ゼロカーボン長野プログラム』の企画、運営支援
・グリーンインフラの普及啓発とあわせて、信州フェスタのメモリアルとなるイベントを松本会場、長野会場で開催(共催)する。
松本会場：令和5年5月13日(土) 予定
長野会場：令和5年5月28日(日) 予定

(2) 地域活動団体、企業、個人等の相互交流および協働に関する事業【3】

①信州緑花ネットワーク支援(収益事業) ※継続
第36回全国都市緑化信州フェア開催を契機に設立された、県民・市民が主体となった連携組織である信州緑花ネットワークの事務局を運営する。
・信州グリーンインフラの普及に関する技術協力

- ・メイン会場におけるメモリアル花壇とプロジェクトチームの運営支援
プロジェクトチーム「信州花フェスタ花緑ボランティアの会」の運営協力
花緑ボランティアリーダー養成講座のコーディネート
- ・国営アルプスあづみの公園における「国営公園シェードガーデンプロジェクト」の運営支援

②エコマラソン長野支援（収益事業） ※継続

中学生、高校生、専門学校・高専、大学生や社会人が参加する自作エコカーの燃費・電費を計測する競技会として第17回となる『エコマラソン長野2022』を共催、運営支援する。

（3）環境や地域の歴史、文化等の教育支援、生涯学習に関する事業【6】

①宇原川親水空間利用プロジェクト（公益事業） ※検討中

宇原川上流部（須坂市仁礼地区）における河川空間の利活用に関する企画を具体化し、関係者との調整・連携に取り組む。

（4）インターンシップ、ボランティア等の社会参加活動の斡旋、仲介、証明等に関する事業【9】

①社会貢献活動への参加証明（公益事業） ※継続

学生などが取り組むボランティアや社会貢献活動等について、その活動状況を審査し、証明書を発行する。他団体が実施した活動についても対象とする。

（5）企業、団体における人材育成および社会貢献活動の支援に関する事業【11】

①CPD（技術者の継続教育）（収益事業） ※継続

建設、建築等の技術者向けにCPD（継続教育）プログラムを作成、実施し、その修了者に受講証明書を発行する。

②企業等の技術支援業務（収益事業） ※継続

会員企業と学校、研究機関等との共同研究などにより、技術力向上の支援を行う。

（6）地域資源を活用した技術および商品の開発、販売等に関する事業【7】

①委託販売プロモーション（収益事業） ※検討中

当法人での各種商品、アート等の委託販売等の対象や手法を具体化する。

（7）文化・芸術等のイベント、講座等の企画、運営等に関する事業（公益事業）【5】

①OASISセミナーの企画、運営 ※検討中

市民や専門家などさまざまな対象に向けたイベントや講座等を企画し、その運営手法を検討する。

（8）その他、本会の目的を達成するために必要な事業【12】

①事業促進ツールの製作（収益事業）

当法人の事業促進を目的としたパンフレットツールの拡充を図るほか、ホームページなどを通じた情報発信に取り組む。

②その他

・会員と協力し、公益事業、収益事業プロジェクトの企画立案を行う。

2. 会議等

- ・令和 4年11月 4日(金) 第9期第1回理事会 ※書面決議による
 - ・令和 4年11月26日(土) 第9期定期総会 会場：長野市リサイクルプラザ
- 理事会を随時で開催するほか、会員相互の連携を深める親睦会を開催する。

(参考) 定款における事業

- 【 1】講演会、フォーラム、出張講座等の企画、運営に関する事業
- 【 2】広報、出版等の情報の発信に関する事業
- 【 3】地域活動団体、企業、個人等の相互交流および協働に関する事業
- 【 4】スポーツ、レクリエーション等の余暇活動の企画、運営等に関する事業
- 【 5】文化・芸術等のイベント、講座等の企画、運営等に関する事業
- 【 6】環境や地域の歴史、文化等の教育支援、生涯学習に関する事業
- 【 7】地域資源を活用した技術および商品の開発、販売等に関する事業
- 【 8】食育の促進および食文化の振興発展等に関する調査研究、普及啓発に関する事業
- 【 9】インターンシップ、ボランティア等の社会参加活動の斡旋、仲介、証明等に関する事業
- 【10】行政、地域活動団体、企業等への助言および施設管理運営等に関する事業
- 【11】企業、団体における人材育成および社会貢献活動の支援に関する事業
- 【12】その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第4号議案

第9期 収支予算(案)
(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

1. 事業活動収支

(単位：円)

項目	今期予算(A)	前期予算(B)	増減 A-B	(前期決算)
事業活動収入				
① 会費収入	370,000	360,000	0	430,000
② 寄付金	1,000	1,000	0	0
③ 補助金等	0	0	0	0
④ 事業収入	150,000	150,000	0	3,538,047
⑤ その他	648	617	31	19
前期繰越金	1,828,352	1,520,383	307,969	1,520,383
収入合計	2,350,000	2,032,000	318,000	5,488,449
事業活動支出				
① 管理費支出	550,000	550,000	0	609,543
② 事業費支出	350,000	350,000	0	3,050,554
予備費(繰越金)	1,450,000	1,132,000	318,000	1,828,352
支出合計	2,350,000	2,032,000	318,000	5,488,449

事業収入(見込み)

① サイト環境整備・活用検討業務(継続)	100,000円
② その他	50,000円
合計	150,000円

■ 会員動向

会員区分	第2期 総会	第3期 総会	第4期 総会	第5期 総会	第6期 総会	第7期 総会	第8期 総会	第9期 総会	増減
正会員(団体)	6	6	7	6	6	6	6	6	増0,減0
団体登録会員	22	22	23	22	24	24	24	24	増0,減0
正会員(個人)	7	10	10	11	12	13	13	13	増0,減0
プロ会員	2	8	8	8	8	8	7	7	増0,減0
手続き中	0	0	0	0	0	0	0	0	増0,減0
登録者合計	31	40	41	41	44	45	44	44	増0,減0

○ 退会 なし

○ 入会 なし

第5号議案

定款の変更について

定款 23 条 1 項の変更について下記のとおり変更する。

変更後	現行
役員任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。	役員任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

第6号議案

役員を選任について

〈参考〉

■役員（第7期～第8期）

役 職	氏 名
代表理事・会 長	松岡 保正
代表理事・理事長	宮入 賢一郎
理事	井出 寛
理事	小坂 禎二
理事	清水 満
監事	永田 良輔
監事	永村 清造

—事務局案

■役員（第9期～第10期）

役 職	氏 名
代表理事・会 長	松岡 保正
代表理事・理事長	宮入 賢一郎
理事	井出 寛
理事	小坂 禎二
理事	清水 満
監事	永田 良輔
監事	永村 清造

